

肺切除手術における signia TM : slow mode の有用性の検討

1. 研究の対象

2023年10月～2025年12月に当科で肺切除手術を受けられた方です。

2. 研究目的・方法

研究目的

肺切除手術において肺を切離しながら縫合する自動縫合器は重要な役割を担っています。自動縫合器における縫合の正確性には切離速度が重要であるとの報告があります。Signia TM という自動縫合器に搭載されている slow mode では低速での切離が可能となり、その正確な縫合能力の臨床的効果が期待されています。今回我々は手術の進行に影響を与える肺血管からの滲出性出血や肺切除断端からの空気漏れについて slow mode の有用性を検討します。

3. 研究方法

【方法】

2023年10月から2025年12月までの間に、高知大学医学部附属病院呼吸器外科で肺切除手術を受けた患者さんの臨床データ（年齢、性別、喫煙指数、術式、使用した自動縫合器、血管からの滲出性出血や肺からの空気漏れを確認するための手術データ）を保管してあります。電子カルテ内のこれらのデータから slow mode の有用性を検討します。

【研究期間】

この臨床研究の研究期間は、研究機関の長の実施許可日～2026年12月31日までです。利用又は提供を開始する予定日は2025年11月1日です。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんは、個人を特定出来ないように匿名化して研究を進めます。この研究で用いる情報は、手術を行った時の年齢、性別、喫煙指数、手術術式、術後ドレーン留置期間です。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出 ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部呼吸器外科学講座 田村昌也

電話番号 088-888-0414

研究責任者： 高知大学医学部呼吸器外科学講座 講師 宮崎 涼平